



中北伸一氏

佃俊一郎氏

松原英樹氏

撮影／(株)ウェブブランディング『SETOUCHI Tribe (瀬戸内ドライブ)』にて

座談会

動画のすばらしさについて

～広報・情報化委員会「デジタル部会」新設～

インタビュー
動画はコチラ

【出席】広報・情報化委員会

委員長 佃 俊一郎氏
(株)ウェブズ工房／代表取締役デジタル部会長 中北 伸一氏
(株)四国貨物配送センター／代表取締役

【司会】広報・情報化委員会

編集長 松原 英樹氏
(有)松原製本所／代表取締役

急激に変化するデジタル化への対応が否応なく求められる時代に

司会 本日は「動画のすばらしさについて」のタイトルでインタビューさせていただきました。なお会場は広報・情報化委員会IT部会長であります(株)ウェブブランディング／代表取締役の行成さんのスタジオ「SETOUCHI Tribe (瀬戸内ドライブ)」をお借りしております。では、まず最初に佃さんにお聞きします。広報・情報化委員会に入られて何年になりますか？また、委員会入会のきっかけは？

佃 約5年になります。委員会入会は(株)三好製作所の三好さんにお声をかけていただいたのがきっかけです。当時は広報・情報化委員会がどんなことをしているのか全く知りませんでしたので、興味本位で顔を出したというのが本当のところ。司会 おそらく右も左も

わからない状況だったと思います。ですが、当時を振り返ってどうですか？記憶に残っていることがあれば教えてください。

佃 はい。本当に何もわからずの参加でしたが、目的は二つありました。一つ目はホームページの活性化、二つ目はe.doyuの利用率70%です。

司会 5年が経つたいま、心境の変化などありますか？また広報に対する思い等があれば聞かせてください。

佃 自社活動もそうですが、やはり告知をしないとモノは売れない時代なので、そのツールとして動画やSNS等、ホームページだけだった頃とは大きく変わってきました。時代の流れの速さをこの5年で痛感しています。まさに変化のスピードを肌で感じていきます。ですから、急激な変化に置いていかなれないことが重要だと思っています。

コロナ禍のいまはオンライン上でどこまで伝えられるかがポイント

司会 ありがとうございます。ところで今期委員長に就任し、なおかつ『経営指針を創る会(以下、創る会)』にも入会されましたが、創る会での経験を広報・情報化委員会に活かした点などあれば教えてください。

佃 実は創る会では先輩会員からとても大切な言葉を頂戴しました。それは「伝わらないという事実だけが残っていますよ」という言葉です。つまり広報活動も一緒に、伝わらないと意味がないわけです。そこがポイントかなと思っています。

司会 委員長に就任して半年が過ぎましたが、その思いはどうですか？皆さんに伝わっていますか？

佃 コロナ禍でままならないことが続いています。オンライン上でどこまで伝えられるかが大きなポイントだと思います。Zoomを使ってリモートで相手の方と



お話しをするようなことは皆さんされていなかったと思うんですね。そこに追加でYouTubeで配信するのはとても重要だと思っています。

司会 いまのお話しは委員会からの発信だと思いますが、委員会内での新しい体制の中で佃さんのその考えは伝わっていますか。

佃 そうですね。中北部会長をはじめ伝わっていると思っています。

司会 ありがとうございます。本題に入らせていただきますが、委員会内には編集部会とIT部会、デジタル部会があります。その役割と活動内容を簡単に説明していた

だけですか。

佃 編集部会は『同友かがわ』の編集が主な活動内容です。それからIT部会はホームページの活性化とedoyuの利用率アップであり、デジタル部会は動画の作成とSNSへの発信です。

既存のIT部会と新設のデジタル部会の違いは？

司会 委員長に就任されて新しくデジタル部会を新設されましたが、既存のIT部会と新設のデジタル部会の違いはどこにありますか。

佃 実は私が委員会に入ったときから動画で発信すれば面白いのではないかと思って

たのですが、広報・情報化委員会では担う役割がたくさんあり、ホームページと動画を一緒にしてしまうとメンバーの負担が大きいです。部会を分けたほうがいいのではと考えました。

司会 動画の強みというか重要性はどんなところにありますか。

佃 香川同友会ですが、アナログな部分に関しては非常に結束力があり、会って話をすれば理解してもらえ、皆がわかっていることですが、コロナ禍でそれが出来なくなり、情報伝達が難しくなってきました。そこで加速したのが、SNSやYouTube

です。

ただここで大切なことはコンテンツ、企画です。やみくもに動画を作って発信しても伝わらない部分が多いので、中身をしっかりと考え制作することが重要なポイントです。現在携わっている経営研究集会の魅力発信部会でもその点に配慮して動画発信をしています。

司会 動画制作の際、中身が問題とのことですが、それについてもう少し詳しく聞かせてください。

佃 林代表理事がよく「誰のために、何のために」と言われますが、動画も同じで発信する場合は何のために、誰のためにを念頭に置いて企画をすると伝わりやすいと思っています。ですから、まずは動画を撮るテクニックよりも中身のほうが重要課題と受け止めています。

司会 デジタル部会長の中北さんにお聞きします。デジタル部会が発足してまだ半年ですが、手応えはどうですか？

中北 そうですね、同友会に

はSNS等をされている会員さんが多いのですが、それを仕事に活かしているとか、それが業績につながっているとかになると、まだまだではないかと思えます。要するにまだ伸びしろがあるように思うので、そういう会員さんに向けてSNSの具体的な活用方法等のセミナーの開催や動画撮影等の企画に取り組んでいます。まだはじめたばかりなので実績は少ないです。佃委員長や他の部会長とも相談しながら取り組んでいきたいと思っています。

司会 最近、デジタル部会でSNS初心者対象のセミナー

を開催されましたが、参加者の反応はどうでしたか？

中北 感想が多かったのは、「具体的でわかりやすかった」「もっと積極的に取り組みたいがそれにはどうすればいいか」という声です。

また、すぐにInstagramやFacebookに登録したり投稿したりする会員さんがいましたので、それなりの効果はあったように感じています。次は11月30日に動画の活用に関するセミナーを実施します。

どんな思いで作成し、誰に伝えるかを根底に。それが動画作成の基本

司会 動画が自社の売上にどうつながるかが具体的にわかれば、反響はもっと大きなものになるのではないかと思います。

佃 そうですね。実は一昨年の長崎で開催された全国経営研究集会で、元ジャパネットたかたの高田社長のお話を聞く機会がありました。長崎の街の小さなカメラ屋からあれだけの企業に成長したのはテレビ通販の成功ですが、テレビショッピングのような動画は、商品の説明が見事です。あのようなものがYouTubeにのると商品の魅力がとてよく伝わります。ただし、見てもらえないと



売れません。見てもらうコンテンツは出来上がってもそれプラスいかにして発信するかが課題です。SNS、動画に即効性を求めがちですが、デジタル化が進むことで意外かと思われるかもしれませんがアナログ力も問われると思います。

ですから、人の心に響くものは人の心から出てくると思っているのです、それを常にベースにおいて動画作りを取り組んで欲しいと考えます。自分だったらこれがいいとか、これが欲しいとか、うちの商品はどういうところに絶対に自信がある等々、

人の心から出てきたものを企画し、動画というツールを使いましょうということですね。

動画を使って自社のホームページに誘導したり、SNSを活用する等、いまは多様化しているのでそういうところを心がけて欲しいと思います。

司会 要するにどういう思いで動画を作り、誰に見せるかが大事な事ですね。

中北 その通りです。動画の重要性はまず企画、どう伝えるか。コンセプトが一番大事であって、次は誰に伝えるか。ターゲットが大事です。

そして何を使ってやるか。ツールです。同時に編集力が求められます。例えば1時間の動画を10分以内にまとめるにはどうすればいいか。これがとても重要になってきます。

司会 中北さんのお話は皆さんが創る会で学んだことと重なるところがあるのではないですか。

佃 創る会では、決算書の内容や自分の思いを全く知らない方に伝えなければならなかったのですが、上手く伝えられないとどかしいものです。何事も伝えることは大変です。

司会 よくわかりました。中北さんはどうですか。

中北 確かにその通りだと思います。話を元に戻しますが、動画制作にはみなさん難しいというイメージを持っているように思うのですが、どうでしょうか。たしかに手間がかかりますが、中にはスマホで簡単に出来るものもあるので、ぜひ一步を踏み出してもらえたらと思います。私としてはひとりでも多くの方に使ってもらいたいですね。

佃 9月1日に鳴物入りでデジタル庁が発足しましたが、当時の担当大臣が「ひと





りも残さない」という政策を掲げました。これは、IT弱者の方も取り残されないように、みんなが豊かな生活を送れるようにというのが国の政策でもあるわけです。SNSや動画は難しいかも知りませんが、広報・情報化委員会として皆さんの役に立てるような行動をおこなうことで関心が高まり、取り組み方が増えるのではないかと期待しています。

中北 コロナ禍でデジタル化が急加速しましたが、本当にアプリ一つ取り込んだらすぐアップデートの時代になりました。その変化に対応できないと淘汰されるという概念が私にあるので、苦手でも思い切ってYouTubeを見るだけでもいいですし、またFacebookやInstagram、Twitterを登録して見るだけでもいいので、ぜひ参加してほしいというのが私の思いです。

佃 私も同感です。苦手だから、よくわからないと敬遠せずに取り組めばその便利さがわかると思うので、ぜひ最初の一步を踏み出してほしいと思います。

中北 デジタルの概念は人それぞれですが、私は作業の効率化と情報の共有化だと思います。例えば、スマホ一台あれば、6時のニュースの情報が入ってきますから、発信はもちろん情報収集にも大いに役立ちます。このようにプラスオンで使っていくツールです。

佃 今までの伝達ツールにあった紙という文化の歴史は長く、それはそれでこれからも残っていくものだと思いますが、紙、ホームページ、動画等々、これからどんどん増えていくと思います。それによって社会は豊かになっていくと思いますし、何よりも便利なツールの使用によって時間短縮が可能です。これは私自身実感しています。時代の先取りはとても大切なキーワードだと思います。

司会 貴重なご意見をありがとうございます。これからもデジタル部会はもちろん、広報・情報化委員会として会員の皆さんにとって少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。

デジタルの概念は作業の効率化と情報の共有化